整形外科

整形外科部長　村松俊樹

診療体制と患者構成

診療科スタッフ

原田　　繁：病院長
村松　俊樹：整形外科部長
坂根　正孝：リハビリテーション科部長
福島　　真：整形外科科長
作田　直記：骨・関節外科科長
御園生　剛：スポーツ整形外科科長
藤田　　開：整形外科医師（2021年10月～）
星野　　健：整形外科医師（2021年10月～）
廣瀬（落合）史：整形外科医師（～2021年９月）
康本　　潤：整形外科医師（非常勤）
宮本　芳明：整形外科医師（非常勤）
奥脇　　透：整形外科医師（非常勤）

指導医・専門医・認定医等

原田　　繁：日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター、衛生工学衛生管理者、介護支援専門員、労働衛生コンサルタント長（保健衛生）、四病院団体協議会認定診療情報管理士
村松　俊樹：日本整形外科学会認定医、日本整形外科学会専門医、日本体育協会公認スポーツドクター
坂根　正孝：日本整形外科学会認定医、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会脊椎内視鏡下手術・技術認定医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医、日本リハビリテーション医学会指導医、日本体育協会公認スポーツドクター、日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導医、博士（医学）
福島　　真：日本整形外科学会整形外科専門医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、博士（医学）
作田　直記：日本整形外科学会整形外科専門医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、日本整形外科学会認定リウマチ医、博士（医学）
御園生　剛：日本整形外科学会専門医、日本体育協会公認スポーツドクター、博士（医学）
藤田　　開：日本整形外科学会専門医
奥脇　　透：日本整形外科学会認定医・専門医、日本体育協会公認スポーツドクター

外来診療実績

年間外来診療者数　21695人

整形外科外来

週　14診　月～土曜日午前２診　月水曜３診

スポーツ整形外来

週　３診　木曜午後　金土曜午前

脊椎外科外来

週　１診　月曜午後

入院診療実績

年間入院者数　1150人

診療科紹介（概要）

2021年度は筑波大学医局人事の関係で４月から10月までは１名減の状態であった。院長以下７名の常勤医師と３名の非常勤医師で診療を行った。10月からは減員も解消し、昨年度と同じ人数での診療となった。全手術件数では993件と前年の875件と比べ100件以上の増加であった。コロナ禍の影響はまだ受けてはいるが、やはり手術加療を必要とする患者さん方が一定数存在するからであろう。分野別では脊椎手術、外傷手術、人工関節手術、手の外科手術などは2017年度と比べて増加傾向である。総手術件数は過去に及ばなくとも主だった手術が増加しており、、必要な手術が増えている表れかと思われる（その代わりに抜釘手術などが減少しているのだろう）。年間外来診療者数はのべ21695人で、入院患者数は1150人であった。いずれも前年より増加している。今後も患者の要望に応えられる診療を目指し努力していきたい。

診療する主な疾患

脊椎外科

頸椎症性脊髄症　腰部脊柱管狭窄症　椎間板ヘルニア
腰椎すべり症　椎体圧迫骨折　化膿性脊椎炎

関節外科

変形性股関節症　変形性膝関節症　リウマチ性関節症
膝靱帯損傷　膝半月板損傷　肩腱板損傷
反復性肩関節脱臼

外傷

骨折　脱臼　腱靱帯損傷　切創　挫創

医療の質の自己評価

地域の中核となる２次救急病院としての水準を維持している。近隣の医療機関で脊椎手術を扱わなくなった施設もあり、当院では脊椎疾患の手術治療を積極的に行い、先進的医療である脊椎内視鏡下手術や、頚椎症性神経根症に対して顕微鏡下神経根除圧術などを行っている。スポーツ整形外科では、サッカー、ラグビー等のトップアスリートのスポーツ障害に対して高度な手術治療及びリハビリテーションを行い、競技復帰までの一貫した診療を行っている。このため遠方からの手術希望患者も増えている。外来に関しては、「患者さんが満足するような外来の質」を担保するためには各々の患者さん、特に新患に時間をかけることが必要となる。そのためにはいたずらに外来患者数増加を求めるのではなく、完全初回予約制とし、さらに症状が安定してる患者さんは積極的に地域のクリニックに紹介する体制の確立が重要である。ただしこの体制は整形外科のみでは成り立たず、全診療科統一して行う必要があるところが悩ましい。

手術・検査実績報告

手術実績

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
年間手術件数	993	875	1094	1033	1058	958	859
脊椎手術	336	205	282	227	217	188	217
外傷手術	273	249	242	272	267	225	255
人工関節手術	79	74	52	64	86	92	89
膝関節鏡手術	46	51	48	66	41	74	60
手の外科手術	121	83	118	106	102	135	82
膝前十字靱帯再建術	28	20	26	26	27	25	29
肩腱板・関節唇手術	33	23	17	15	13	14	13
脊椎内視鏡下手術	85	72	63	51	58	71	38

学会発表・論文など

学会発表

御園生剛：解剖学的二重束前十字靭帯再建術（Outside-in法）の大腿骨側骨孔拡大とgraft bending angleとの関係．JOSKAS-JOSSM、６月、2021

坂根正孝：ラグビー選手に対する全内視鏡下脊椎手術　シンポジウム７　スポーツ選手における内視鏡手術　第24回日本低侵襲脊椎外科学会、11月、2021

星野　健：当院における指尖部損傷の治療戦略．筑波大学整形外科レジデントデイ、12月、2021

講演

坂根正孝：スポーツによる外傷と障害（３）脊椎・体幹　日本整形外科学会　第48回スポーツ医学研修会　10月、2021

坂根正孝：経皮的内視鏡下椎間板摘出術　日本脊椎外科学会脊椎内視鏡下手術・技術講習会　10月、2021